I-O DATA

Rec-POT

BS DIGITAL RECORDING HDD

BSデジタルハイビジョン放送対応
レコーディングハードディスク **HVR-HDSシリーズ**

取扱説明書



※写真はHVR-HD240Sです

121663-01

もくじ

お読みになる前に 2
必ずお守りください 3

はじめに 7
特長 8
内容物を確かめる 9
各部の名称 10
前面 10
背面 11
専用リモコン 12

使えるようにしよう 13
モードを切り換える 14
設置する 15
接続する 16
電源を入れる 17
電源状態 17
リモコンを準備する 18
電池 18
チューナーに登録する 19
例：Panasonic TU-BHD250 への登録 19
例：TOSHIBA TT-D2000 への登録 20

使ってみよう（モード 1 の場合） 23
録画する 24
録画の仕組み 24
HDD 容量ゲージ 24
再生する 25
D-VHS ビデオデッキにダビングする 25

使ってみよう（モード 3 の場合）.....27
録画する.....28
録画の仕組み.....28
使用容量ゲージ.....28
例：Panasonic TU-BHD250 での予約録画.....29
例：TOSHIBA TT-D2000 での予約録画.....30
Rec-POT メニュー.....31
Rec-POT メニューを表示／切替／閉じる.....31
Rec-POT メニューの種類.....31
タイトルリスト.....32
プログラム再生.....33
設定変更.....34
再生する.....35
番組を再生する.....35
番組をプログラム再生する.....36
番組再生時の操作.....37
番組を保護する［ロック］.....38
ロックの仕組み.....38
番組をロック／解除する.....38
今後録画する全ての番組をロックする（オートロック機能）.....39
全ての番組のロックを解除する.....39
D-VHS ビデオデッキにダビングする.....40
例：本製品から Panasonic NV-DHE10 へのダビング操作.....40

付録.....43
設定モード.....44
設定モードにする.....44
設定する.....44
設定モードを終了する.....45
全ての番組を消す.....46
困った時には.....47
仕様.....49

索引.....50
ご意見・ご質問はこちら.....51
修理について.....52

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

呼び方

呼び方	説明
本製品	Rec-POT(HVR-HD***S)
チューナー	チューナー, チューナー内蔵テレビ

マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△	この記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
⊘	この記号は、禁止の行為を告げるものです。
●	この記号は、必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

⚠警告



異常な熱さ、煙、異常音、異臭が発生したらすぐに使用を中止する

万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。



内部に異物や液体が入ったり、落としたり、カバーが破損したら電源プラグを抜く



金属などの端面への接触

本製品の移動などで金属やプラスチック部分に万一異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。また、すぐに電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。



電源コードを傷つけない

電源コードが傷むと、火災・感電・故障の原因になります。

- ものをのせない
- 引っ張らない
- 折り曲げない
- 押しつけない
- 加工しない
- ねじらない
- 熱器具のそばで使わない
- 重ねて使わない



電源コードの抜き差し

- 電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行ってください。電源コードを引っ張ると一部が断線し、火災の原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。
- 電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
  不完全な場合は、接触不良で火災の原因になります。
- 長時間本製品を使わない場合は、電源プラグを抜いてください。



温度差のある場所への移動

移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。
結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用する場所で電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。



電源プラグのほこりは定期的にそうじする

電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



電源プラグなどの接触不良

電源プラグはほこりが付着していないことを確認し、根元までしっかり差し込んでください。
不完全な場合は、接触不良で火災の原因になります。



修理・改造・分解はしない

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解・改造した場合は保証期間であっても有償修理となる場合があります。



ケースカバーの取り外し

ケースカバーを取り外さないでください。
内部には高電圧部分が数多くあり、触ると危険です。



装置内部へ異物をいれない

内部に金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。



落下などによる衝撃

落下させたり、ぶつけるなどの衝撃を与えないでください。
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置くと、落ちたり倒れたりして故障やけがの原因になります。



コンセントや配線機器の定格を超える使い方や交流 100V 以外での使用はしない

たこ足配線などで、定格を超えると発熱による火災の原因となります。



水でぬらさない

水がかかったり、内部に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 雨天、降雨中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺・風呂場、シャワー室での使用は特にご注意ください。
- 水などの入ったものを上に置かないでください。
  （コップ、花びん、植木鉢、化粧品や薬品容器など）

⚠警告


接触禁止

接触禁止
雷が鳴り出したら本製品やケーブルには触れないでください。感電の原因となります。


禁止

落としたり破損した場合は使わない
火災や感電の原因になります。


厳守

電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従う


厳守

電池は、乳幼児の手の届かない場所に置く
電池を飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。


禁止

電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない
電池の液が目に入ったり、体や衣服に付くと、失明や「けが」、皮膚の炎症の原因となります。
液が目に入ったとき ⇒ 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、直ちに医師の診察を受けて下さい。
液が体や衣服に付いたとき ⇒ すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。
皮膚の炎症や「けが」の症状があるときは、医師に相談してください。


禁止

電池で以下のことに注意する
液が漏れて、「けが」や「やけど」の原因となります。
- くぎを刺したり、分解・改造をしない
- 60℃以上の場所、車中で放置しない
- 定格条件以外での使用をしない
- 水につけない
- （＋）（－）を金属類で短絡させたり、はんだなどを使用しない
- ネックレスやヘアピンなどの金属と一緒に持ち運ばない
- 電子レンジ・オーブンに入れない
- 充電しない
- 火の中に入れたり、加熱・分解・改造したり、水で濡らさない


破裂注意


禁止

リチウム電池の取り扱いについて
添付および指定の電池はリチウム電池です。リチウム電池には、リチウムが含まれており、誤った使用、交換、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。
電池を水に浸したり、100℃以上に熱したり、分解したりしないでください。


禁止

通気孔をふさがない
本製品にある通気孔は内部の温度上昇を防ぐものです。物を置いたり立てかけたりして通気孔をふさがないでください。内部の温度が上昇し、火災や故障の原因になります。

⚠注意


厳守

接続したままで移動させない
電源コードが傷つき、火災や感電の原因となります。
電源コードや接続コードを外したこと確認してから移動させてください。


厳守

配線について
電源コードは足などに引っ掛けないように、配線してください。
足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因になります。


禁止

上に重い物を置かない
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。


禁止

本製品に乗らない
倒れたり、こわれたりしてけが・故障の原因となることがあります。
※ 特に、小さなお子様にはご注意ください。

⚠注意

禁止

本製品は下記のような場所で使用しない

故障の原因になります。

- 水分や湿気の多いところ
- 熱器具の近く
- 振動や衝撃の加わるところ
- 閉めきった自動車など、高温になるところ
- ほこりの多いところ
- 温度差の激しいところ
- 直射日光の当たるところ
- 風通しの悪いところや狭いところ

厳守

電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、「けが」や「やけど」の原因となります。
万一、液漏れしたときは、乾いた布などで電池ケースの周りをよく拭いてから、新しい電池を入れてください。

禁止

電池を充電しない

液が漏れて、「けが」や「やけど」の原因となります。

禁止

本製品は日本国内仕様です

国外では使用しないでください。国外で使用した場合、弊社は一切責任を負いかねます。

使用上のご注意

■お手入れについて

・キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。また、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。変質したり塗装がはげることがあります。
・化学ぞうきんを使用する際は、その注意書きにしたがってください。
・お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜いてください。
感電の原因となることがあります。

■大切な録画は…

・必ず事前に試し録画をして、正常に録画されている事を確認してください。
・本製品を使用中、万一これらの故障や不具合により録画されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。
・本製品の動作中に停電などが発生すると、場合により録画された内容が消去されてしまう事があります。

■記録された番組の互換性について

本製品に記録された番組は、記録したチューナーでご覧ください。
他のチューナーでは、再生できない場合があります。
また、本製品に記録された番組は、全てのチューナーで再生できることを保証するものではありません。

■ハードディスクについて

本製品はハードディスクに映像を記録しています。
ハードディスクは衝撃や振動、温度などの環境の変化の影響により、記録された映像が損なわれる場合がありますので、以下の点にご注意下さい。

・衝撃をあたえないでください。
・録画や再生中は電源プラグを抜かないでください。電源を切り、動作が完全に終了してから、電源プラグを抜いてください。
・ハードディスクに記録されたデータは保証されるものではありません。

■著作権保護のための録画防止機能について

著作権保護のための信号が付加されている放送や映像を録画することはできません。

■著作権について

本製品で録画、録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

はじめに

特長 8

内容物を確かめる 9

各部の名称 10
- 前面 10
- 背面 11
- 専用リモコン 12

特長

本製品は、BS デジタルチューナーと i.LINK で接続し、BS デジタル放送と 110 度 CS 放送をデジタル録画するハードディスクです。ここでは、本製品の特長を簡単に紹介いたします。

BSデジタルハイビジョン放送をそのまま録画

本製品は、松下電器産業株式会社のデジタル家電用ハードディスク「AVHDD」を使用しています。
i.LINK によるデジタル録画のため、現在最高の画質レベルで提供されている BS デジタルハイビジョン放送を高画質のまま劣化なしに録画できます。
120GB モデルで HD レート 10.5 時間／SD レートで 31.5 時間、240GB モデルで HD レート 21 時間／SD レート 63 時間の連続録画が可能です。

ハードディスクならではの瞬間高速頭出し

高速なハードディスクを搭載することで、テープを使用している D-VHS に比べてアクセススピードが飛躍的にアップ、瞬間高速頭出しを実現しました。

見たい番組を素早く探す

・録画した番組のリストから見たい番組を探し再生する事ができます。 ［【Rec-POT メニュー】(31ページ)］
・専用リモコンによる早送り／巻き戻し（3 倍速／6 倍速／12 倍速／24 倍速）、約 30 分飛ばして再生するスキップ機能を搭載しています。 ［【再生する】(35ページ)］

番組をD-VHSデッキにデジタルダビング

本製品に録画した番組を、D-VHS デッキにダビングすることができます。［【D-VHS ビデオデッキにダビングする】(25, 40ページ)］

i.LINKケーブル１本で簡単接続

i.LINK 機器のため、i.LINK ケーブル１本で簡単に接続することができます。

内容物を確かめる

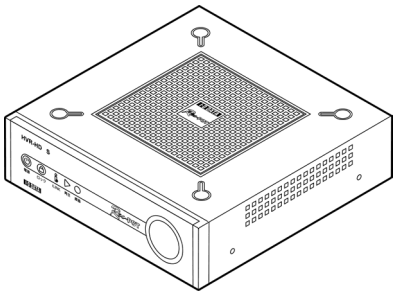
ここでは、本製品の内容物をご案内します。

参考

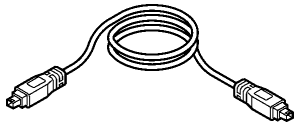
箱・梱包材は
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて
実物と若干異なる場合があります。

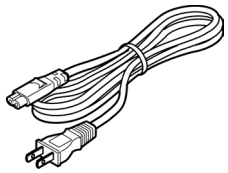
☐ **BSデジタルハイビジョン放送対応レコーディングハードディスク（1台）［Rec-POT］**



☐ **i.LINKケーブル（1本：1.5m）**



☐ **電源ケーブル（1本：1.5m）**



☐ **専用リモコン（1個）**



☑ **Rec-POT取扱説明書（1冊：本書）**

☐ **対応表（1枚）**

☐ **ハードウェア保証書（1枚）**

☐ **ユーザー登録カード（1枚）**

参考

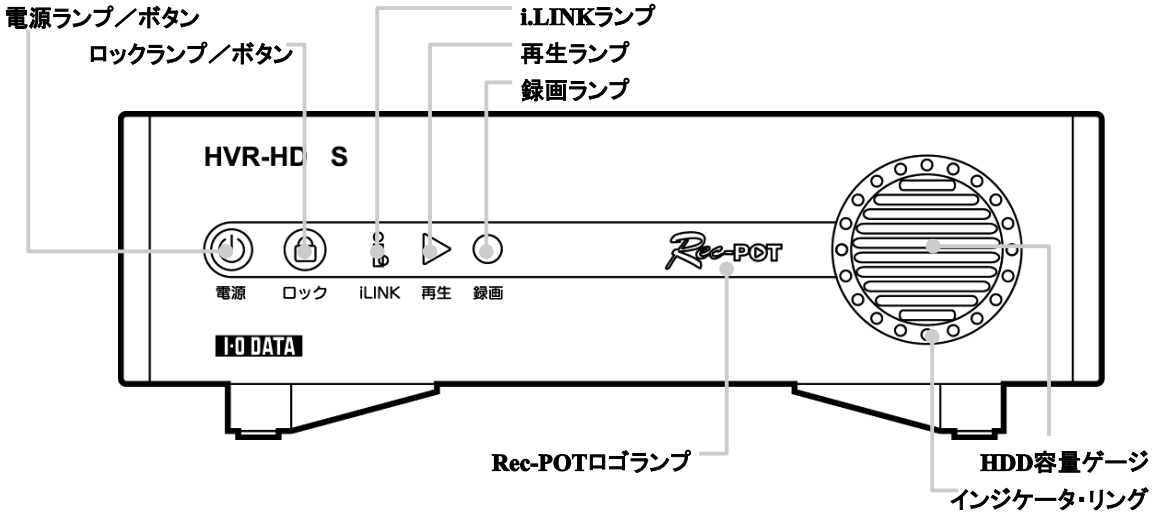
専用リモコンはチューナーによっては使えません
モード 1 使用チューナーでは、専用リモコンは使えません。
チューナーのリモコンを使用して、操作を行ってください。

ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。
登録してから次のページに進みましょう！

各部の名称

ここでは、本製品の各部分の名称とその機能を説明します。

前面



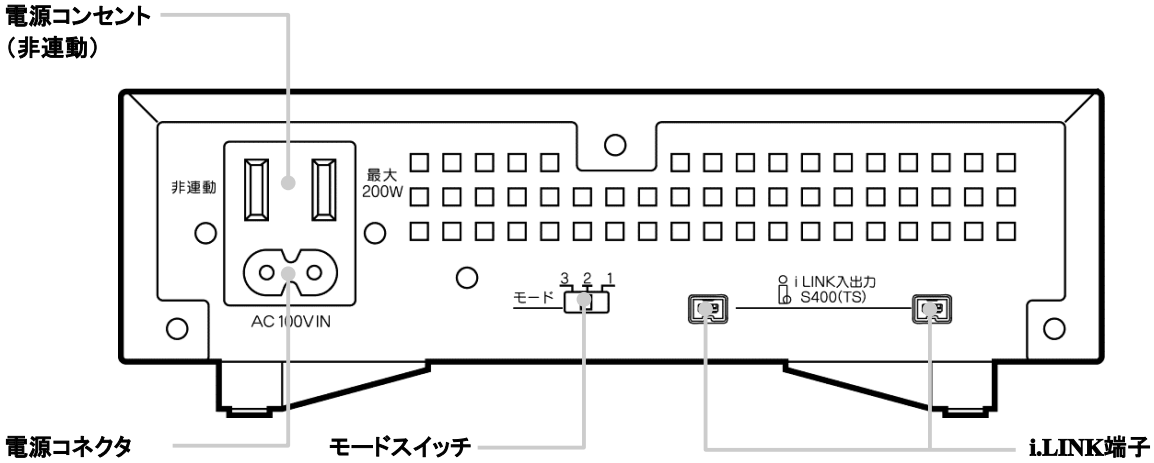
名称	説明
電源ランプ／ボタン	本製品の電源状態を切り換えます。 また、電源状況に応じて点灯します。 【電源状態】(17ページ)
ロックランプ／ボタン	番組の保護（ロック）に使います。 また、本製品の状態や番組の設定に応じて点灯します。 番組を録画／再生していない ‥‥ オートロックがON時に点灯 番組を録画／再生している ‥‥‥ その番組がロック時に点灯 【番組を保護する［ロック］】(38ページ)
i.LINKランプ	本製品がi.LINK機器としてLINCされた場合に点灯します。
再生ランプ	番組再生中やRec-POTメニュー表示時に点灯します。 番組再生を一時停止すると、点滅します。
録画ランプ	番組録画中に点灯します。番組録画を一時停止すると、点滅します。
Rec-POTロゴランプ	リモコンのユニットボタンで操作する側に選ばれた場合、一瞬明るく点灯します。
HDD容量ゲージ	HDDの残り容量を表示します。 【電源状態】(17ページ) また、録画した番組が127個になると赤色になります。
インジケータ・リング	本製品の現在の状態を表示します。

参考

モード 1 では、ロックランプ／ボタンを使えません

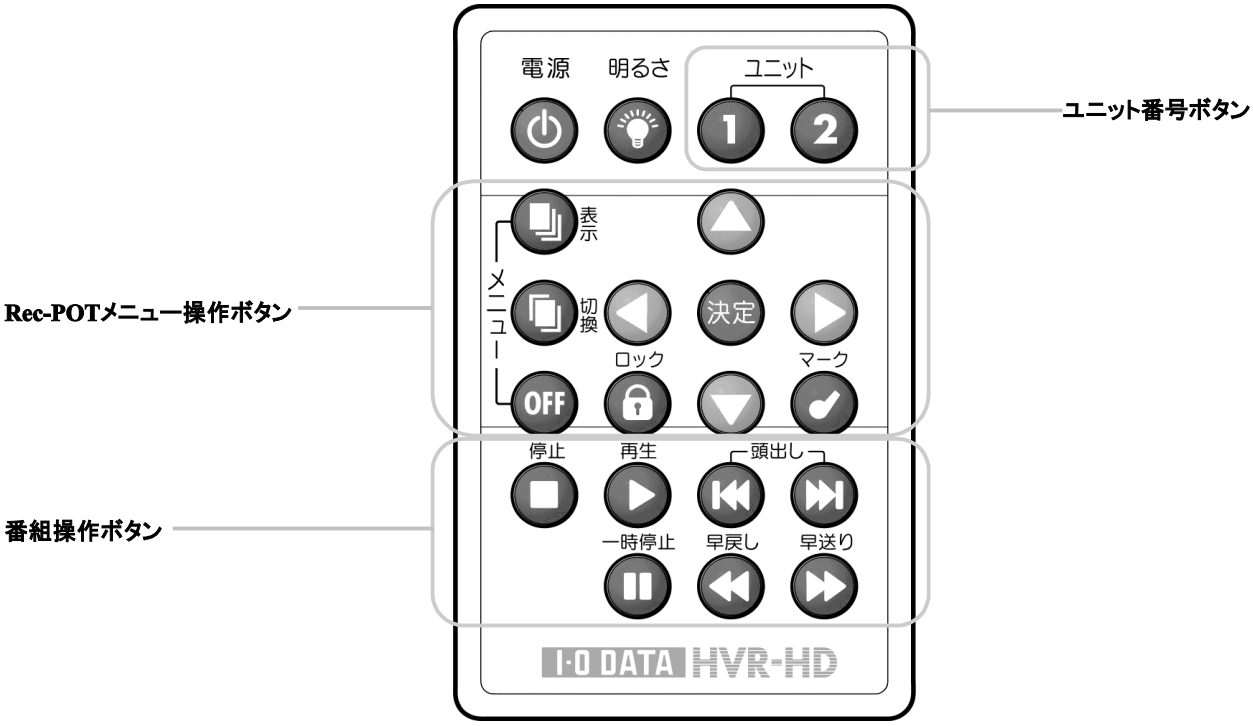
モード 1 では、全ての番組がロック状態となります。

背面



名称	説明
電源コンセント（非連動）	本製品２台をお使いの場合、ここからもう１台の本製品の電源をとることができます。 ※ この電源コンセントは、**Rec-POT**専用です。
電源コネクタ	添付の電源ケーブルを接続します。
モードスイッチ	接続するチューナーによっては、モードの設定を行います。 【モードを切り換える】(14ページ)
i.LINK端子	**i.LINK**ケーブルで、チューナーや他の**i.LINK**機器と接続します。

専用リモコン



名称	説明
[電源]ボタン	本製品の電源状態を切り換えます。 【電源状態】(17ページ) ※ 番組の録画／再生中やRec-POTメニュー表示時には行えません。
[明るさ]ボタン	本製品前面のランプの明るさを変えることができます。
ユニット番号ボタン	本製品を２台お使いの時、操作する本製品を選びます。 【■本製品のユニット番号を設定する】(44ページ)
Rec-POTメニュー操作ボタン	Rec-POTメニューを操作するのに使うボタンです。 【Rec-POTメニュー】(31ページ)
番組操作ボタン	番組を再生しているときなどに使用します。 ※ 番組録画中は使用できません。 【番組再生時の操作】(37ページ)

参考

専用リモコンはチューナーによっては使えません

モード 1 使用チューナーでは、専用リモコンは使えません。
チューナーのリモコンを使用して、操作を行ってください。

使えるようにしよう

モードを切り換える 14

設置する 15

接続する 16

電源を入れる 17

チューナーに登録する 19

モードを切り換える

通常のチューナーでは、本製品のモードを 3 にしてお使いいただけます。
（出荷時に、本製品のモードは 3 になっています。）

参考

一部のチューナーは、モード 1 に切り換える必要があります
それぞれのチューナーで使うためのモードについては、「対応表」のモード欄をご覧ください。

本製品は、下のように登録されます
モード 1 の場合、本製品はハードディスクレコーダー(HDR)として動作します。
チューナーに「HDR　I-O DATA　HVR-HD**S」として登録されます。

モード 3 の場合、本製品はD-VHSとして動作します。
チューナーに「I-O DATA　HVR-HD**S」として登録されます。

注意

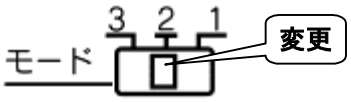
モード 2 には、切り換えないでください
本製品では、モード 2 は使用しておりません。モードは必ず 1 か 3 に設定してください。

1 本製品の電源状態が「ON」もしくは「待機」の場合は、「OFF」にします。

通常は、まだ電源に接続していないため問題ありません。
※ 電源状態については、【電源状態】(17ページ)をご覧ください。

2 別紙の「対応表」をご覧になり、モードを確認します。

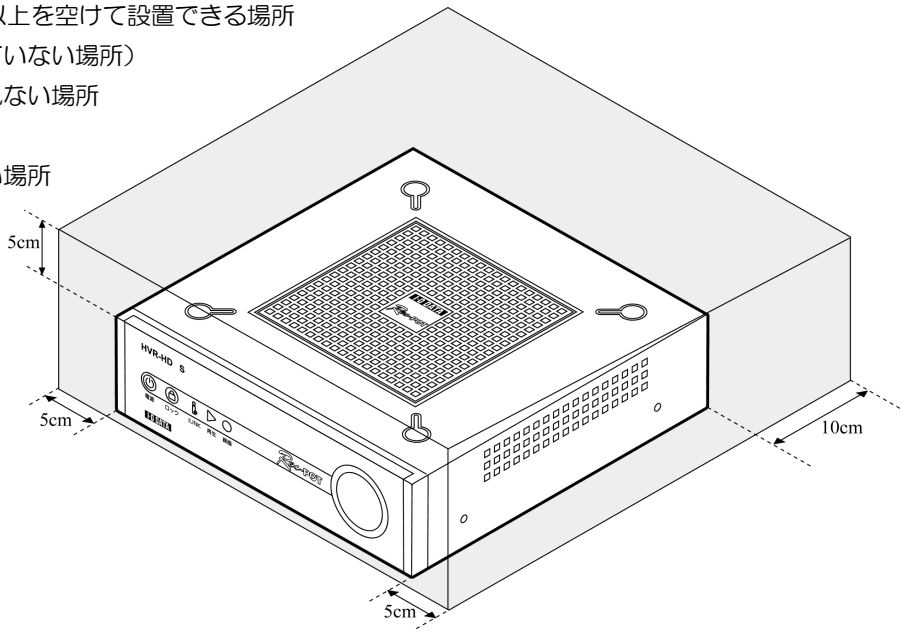
3 モードを換える必要がある場合は、背面のモードスイッチを変更します。



設置する

次のような場所に設置してください。

・左右**5cm**, 上面**5cm**, 背面**10cm**以上を空けて設置できる場所
・風通しの良い場所（密閉されていない場所）
・前面、背面の通気孔がふさがれない場所
・水平で安定した場所
・本製品の脚の間に何も入らない場所



注意

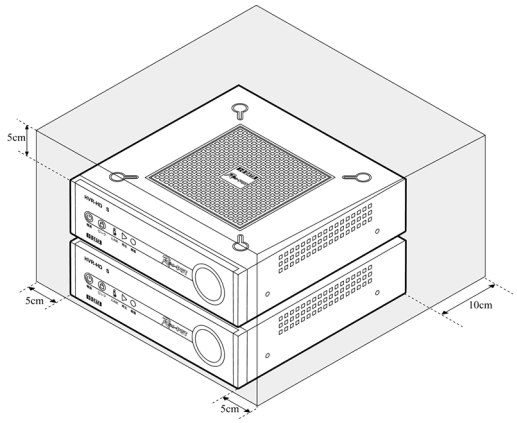
下記にご注意ください

・テレビやチューナーなどの上には設置しないでください。
・本製品の上には、何も置かないでください。（追加の本製品を除く）
・本製品を縦置きしないでください。

参考

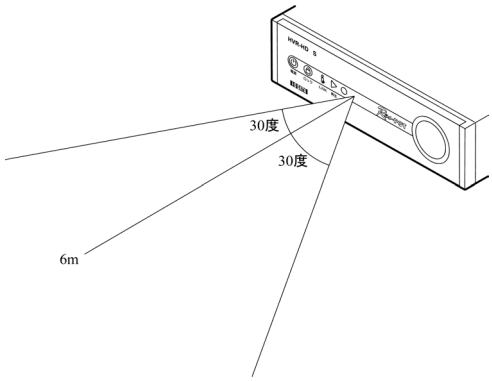
本製品は合計2台までお使いいただけます

その場合は、重ねてお使いいただくことも可能です。
設置条件については、２台重ねたものを基準に上の条件にしたがってください。



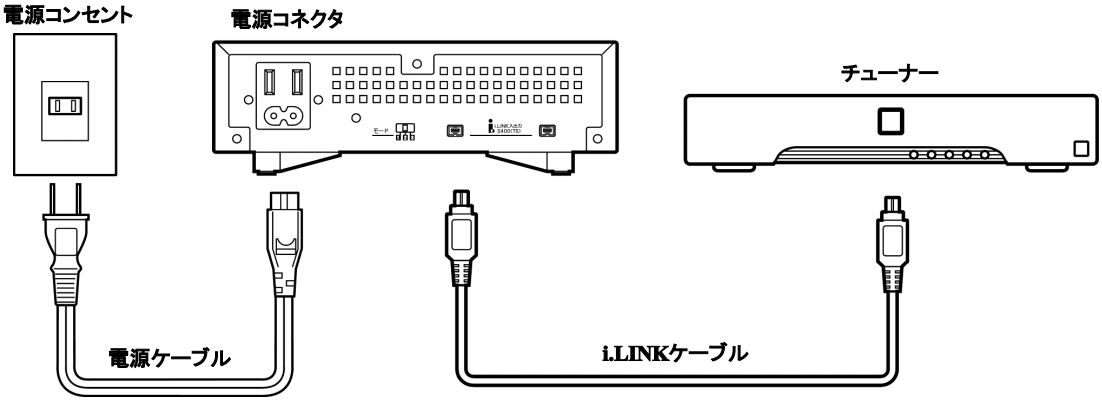
リモコンの操作可能な範囲について

本製品の前面中央がリモコン受光部となっております。
そこより、左右に**30**度、距離は**6m**以内で操作してください。



接続する

本製品をチューナーと電源コンセントに接続します。

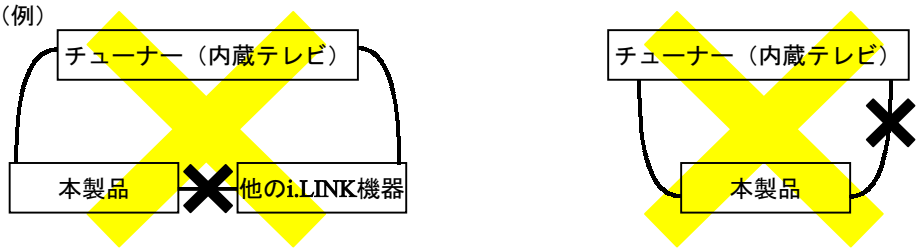


注意

ループ接続をしないでください

i.LINKでは、輪になるように接続すると正しく動作しません。輪にならないように接続してください。

（例）



参考

本製品を2台お使いの場合

追加の１台は、もう１台の背面にある電源コンセントから電源をとることができます。

i.LINK端子はどちらに接続してもかまいません

i.LINK端子はどちらも同じものです。どちらに接続しても問題なくお使いいただけます。

映像・音声コードは使いません

本製品は、i.LINKケーブルのみの簡単接続です。他のケーブルは必要ありません。

チューナー側で接続に注意・制限事項がある場合があります

チューナーの取扱説明書も同時に参照しながら、接続してください。

パソコンに接続しても使えません

本製品は、著作権保護機能に対応しており、録画された番組は暗号化されています。
そのため、パソコンと接続してお使いいただくことはできません。あらかじめご了承ください。

i.LINKケーブルについて

添付のi.LINKケーブルは、S400対応のi.LINKケーブルです。
紛失された場合は、S400対応のi.LINKケーブルをご購入ください。

電源を入れる

接続を終えたら、本製品の前面にある電源ボタン／ランプが緑に点灯していることを確認します。
⇒本製品の電源状態は「ON」になっています。
　電源状態が「ON」になってから、本製品が使えるようになるまで約 20 秒ほどかかります。



電源状態

電源状態には、「ON」「待機」「OFF」の３つがあります。

状態	電源ランプ	説明
ON	緑	Rec-POT メニューを表示、再生、録画などをすることができます。
待機	オレンジ	本製品の操作やチューナーからの予約録画などでいつでも「ON」状態になることができます。
OFF	赤	チューナーなどから予約録画の連絡が来ても「ON」状態になりません。 この状態でのみ、本製品を電源コンセントより取り外せます。



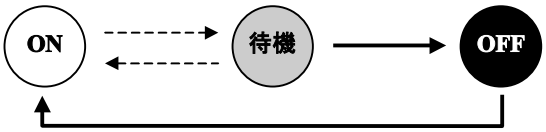
長時間使わない時を除いて、「OFF」状態にしないでください
　本製品の主電源を切ってしまうと、予約録画などで自動的に本製品を起動できません。
　そのため、予約録画などの失敗の原因となります。



下の矢印の意味
- --------→　電源ボタンを一度押す。［モード 1 では使えません］
- ——————→　電源ボタンをピッとなるまで（約3秒間）押す。

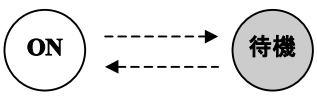
電源ボタンは下記の場合は使えません
- ・番組を録画／再生している
- ・Rec-POTメニュー(31ページ)を表示している

■本製品の電源ボタン



■リモコンの電源ボタン

　リモコンでは、「ON」と「待機」の状態にすることができます。



リモコンを準備する

リモコンを準備する方法や電池の入れ替えについて説明します。

参考

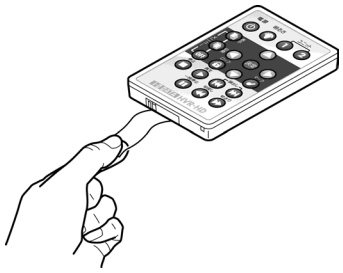
専用リモコンはチューナーによっては使いません
モード 1 使用チューナーでは、専用リモコンは使いません。
チューナーのリモコンを使用して、操作を行ってください。

本製品2台を操作するための設定
本製品の設定モードから行うことができます。
【設定モード】(44ページ)をご覧ください。

電池

■最初に入っている電池を使えるようにする

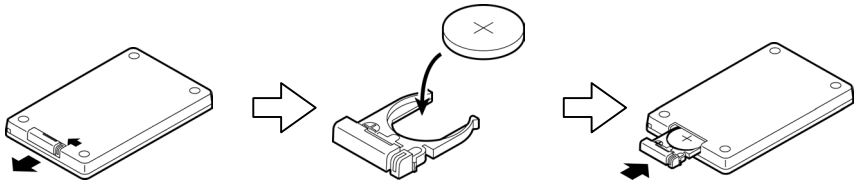
リモコンには電池が入っています。
リモコンから出ているフィルムを引っ張り出して、電池を使えるようにしてください。



■電池を入れ替える

リモコンで操作をしても操作が届きにくくなった場合は、電池（CR2025）を交換してください。

① リモコンの裏面を上にします。
② 電池ブタのスライド部を左に動かしてから、電池ブタを引き出します。
③ 古い電池を取り出し、新しい電池を＋側が表になるように電池ブタにおきます。
④ 電池の＋側がリモコンの裏面を向くように電池ブタを押し込みます。



注意

極性（＋，－）を逆にしないでください
本製品の動作不良および故障の原因となります。

指定された電池（CR2025）以外を使わないでください
本製品の動作不良および故障の原因となります。

チューナーに登録する

本製品を使うには、チューナーに「i.LINK 機器」として登録される必要があります。
通常は、本製品を接続するだけで登録されます。
各チューナーの取扱説明書をご覧になり、登録されているかどうかを確認しましょう。

参考

本製品は、下のように登録されます

モード 1 の場合、本製品はハードディスクレコーダー(HDR)として動作します。
「HDR　I-O DATA　HVR-HDxxxS」として登録されます。

モード 3 の場合、本製品はD-VHSとして動作します。
「I-O DATA　HVR-HDxxxS」として登録されます。

本製品以外のi.LINK機器が登録されていると正常に動作しないことがあります

その場合は、本製品以外のi.LINK機器の登録を削除してください。

例：Panasonic TU-BHD250への登録

Panasonic TU-BHD250 への登録方法を紹介します。
これは例ですので、チューナーの取扱説明書をご覧になりながら作業を行ってください。

参考

ここで紹介している方法は手順例です

必ずチューナーの取扱説明書をご覧になりながら、作業を行ってください。

1 チューナー(TU-BHD250)と本製品を接続します。

【接続する】(16ページ)をご覧ください。

2 チューナーのリモコンにある[機器ナビ]ボタンを押します。

⇒「機器ナビ」が表示されます。

3 [機器接続設定]に合わせて、[決定]ボタンを押します。

⇒「機器接続設定」が表示されます。

4 [i.LINK接続設定]に合わせて、[決定]ボタンを押します。

⇒「i.LINK接続設定」が表示されます。

5 本製品の登録を確認します。

「HVR-HDxxxS」の「接続状態」が「オン」、「使用」が「する」になっていることを確認します。



例：TOSHIBA TT-D2000への登録

TOSHIBA TT-D2000 への登録方法を紹介します。
これは例ですので、チューナーの取扱説明書をご覧になりながら作業を行ってください。

参考

ここで紹介している方法は手順例です
必ずチューナーの取扱説明書をご覧になりながら、作業を行ってください。

1 チューナー(TT-D2000)と本製品を接続します。

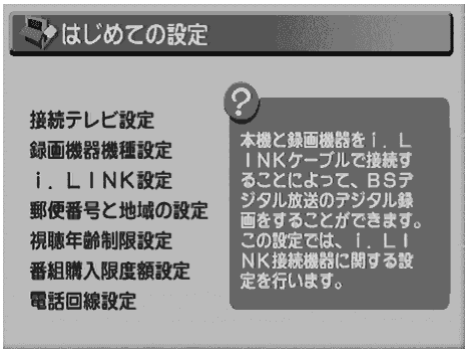
【接続する】(16ページ)をご覧ください。
⇒「はじめての設定」画面が表示されます。

参考

「はじめての設定」画面が表示されない場合は･･･
① ［ホームメニュー］ボタンを押します。
② ［設定メニュー］を選び、［決定］ボタンを押します。
③ ［初期設定］の［はじめての設定］を選び、［決定］ボタンを押します。
⇒「はじめての設定」画面が表示されます。

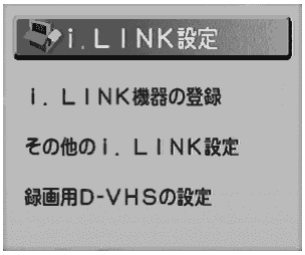
2 [i.LINK設定]を選び、[決定]ボタンを押します。

⇒「i.LINK設定」画面が表示されます。



3 [i.LINK機器の登録]を選び、[決定]ボタンを押します。

⇒「i.LINK機器の登録」画面が表示されます。

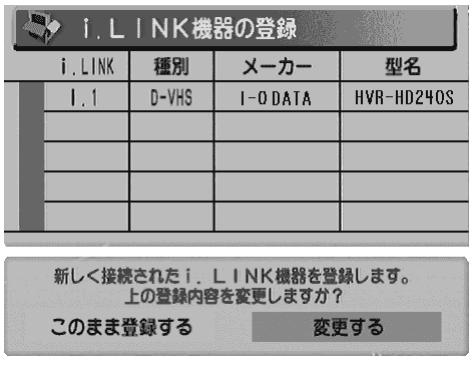


4 「メーカー」が「I-O DATA」,「型名」が「HDR-HDxxxS」であることを確認します。

⇒「i.LINK機器の登録」画面が表示されます。

5 [このまま登録する]を選び、[決定]ボタンを押します。

⇒「i.LINK設定」画面に戻ります。

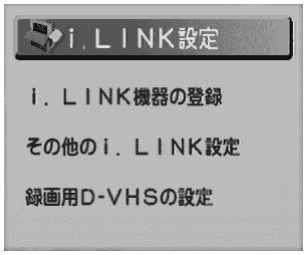


参考

[変更する]を選ぶと･･･
「i.LINK」の番号を変えられます。詳しくはチューナーの取扱説明書をご覧ください。

6 **［録画用D-VHSの設定］を選び、［決定］ボタンを押します。**

⇒「録画用D-VHSの設定」画面が表示されます。



7 **「HDR-HDxxxS」を選び、［決定］ボタンを押します。**

⇒本製品に「録」マークが付きます。



8 **［終了］ボタンを2回押します。**

参考

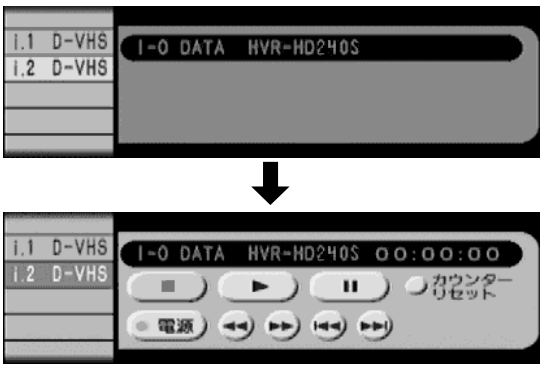
本製品を操作するときは・・・

ここで紹介しているTT-D2000などの一部のチューナーは、i.LINK機器を使えるようにチューナーを設定してからでないと本製品が動作しません。
そのような場合、チューナーの取扱説明書をご覧になり、設定を行ってください。

TT-D2000での例

① チューナーのリモコンの［i.LINK］ボタンを押します。
⇒チューナーが「i.LINKモード」になります。
本製品以外のi.LINK機器をチューナーに接続していない場合は、これで本製品が動作するようになる場合があります。手順③にお進みください。

② チューナーのリモコンの ▲ ・ ▼ ボタンで本製品を選び、▶ ボタンを押します。
⇒本製品を操作するパネルが表示されます。



③ 操作パネルを消したい場合は、チューナーのリモコンの［i.LINK］ボタンを押します。
もう一度チューナーのリモコンの［i.LINK］ボタンを押せば、再び操作パネルが表示されます。

④ 「i.LINKモード」を終了するには、チューナーのリモコンの［終了］ボタンを押します。
⇒「i.LINKモード」にするまで本製品は動作しなくなります。

Memo

使ってみよう（モード 1 の場合）

録画する.....24
録画の仕組み.....24

再生する.....25

D-VHS ビデオデッキにダビングする.....25

録画する

本製品への録画は、チューナー側の操作で行います。
各チューナーの取扱説明書をご覧になり、番組の録画を行ってください。

参考

録画できる時間の目安

HDレート（デジタルハイビジョン放送）　120GBモデル10.5時間／240GBモデル21時間
SDレート（デジタル標準テレビ放送）　120GBモデル31.5時間／240GBモデル63時間
※ これらの録画レートは、放送により自動決定されます。（本製品では、設定できません）

録画できる番組数

録画できる番組数は、最大127までとなります。

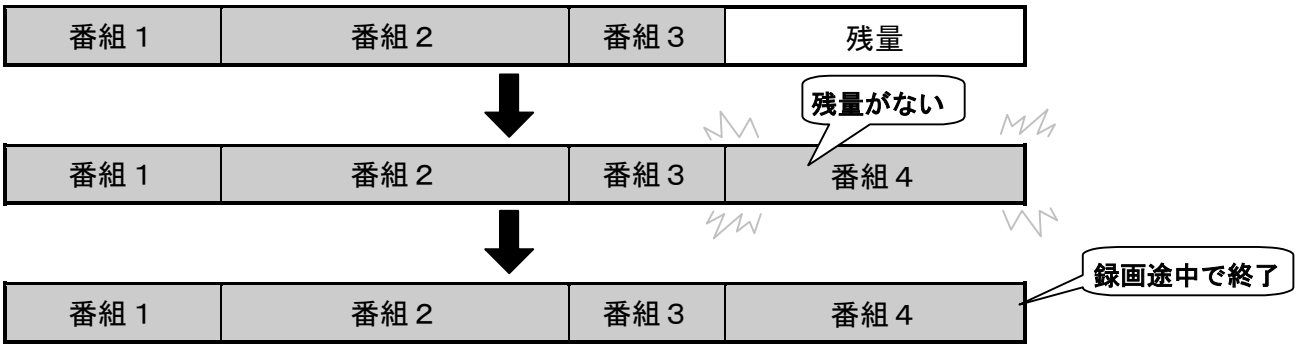
注意

15秒より短い番組は録画できない場合があります

必ず録画できるように、1分以上続けて録画するようにしてください。

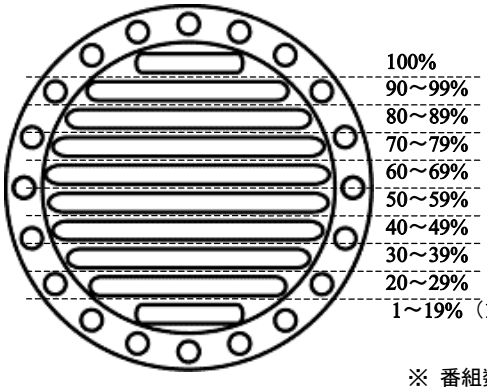
録画の仕組み

録画するためには、本製品の残量が必要です。残量が無くなると、録画できなくなってしまいます。
残量が少ない場合は、チューナー側の操作で不要な番組を消去してください。



HDD容量ゲージ

HDD の残り容量に応じて点灯します。



※ 番組数が 127 になると、容量を表示するランプが赤く点灯します。

再生する

本製品からの再生は、チューナー側の操作で行います。
各チューナーの取扱説明書をご覧になり、番組の再生を行ってください。

D-VHSビデオデッキにダビングする

本製品と D-VHS ビデオデッキとのダビング操作は、D-VHS ビデオデッキの操作で行います。
D-VHS ビデオデッキの取扱説明書をご覧になり、ダビング操作を行ってください。

参考

簡単なダビング操作例

① D-VHSビデオデッキに本製品が認識されているのを確認します。
② D-VHSビデオデッキを録画一時停止状態にします。
③ チューナーの操作で、本製品を再生状態にします。
④ D-VHSビデオデッキの録画一時停止を解除します。

D-VHSビデオデッキにMPEGデコーダーがない場合

そのD-VHSビデオデッキからはダビング中の番組を見ることはできません。

D-VHSビデオデッキから本製品へのダビングはできません

本製品側からD-VHSビデオデッキを操作することはできないため、D-VHSビデオに保存されている番組を本製品にダビングすることはできません。

Memo

使ってみよう（モード 3 の場合）

録画する 28
録画の仕組み 28
例：Panasonic TU-BHD250 での予約録画 29
例：TOSHIBA TT-D2000 での予約録画 30

Rec-POT メニュー 31
Rec-POT メニューを表示／切替／閉じる 31
Rec-POT メニューの種類 31
タイトルリスト 32
プログラム再生 33
設定変更 34

再生する 35
番組を再生する 35
番組をプログラム再生する 36

番組を保護する［ロック］ 38
ロックの仕組み 38
番組をロック／解除する 38
今後録画する全ての番組をロックする（オートロック機能） 39
全ての番組のロックを解除する 39

D-VHS ビデオデッキにダビングする 40
例：本製品から Panasonic NV-DHE10 へのダビング操作 40

録画する

本製品への録画は、チューナー側の操作で行います。
各チューナーの取扱説明書をご覧になり、番組の録画を行ってください。

参考

録画できる時間の目安

HDレート（デジタルハイビジョン放送）　120GBモデル10.5時間／240GBモデル21時間
SDレート（デジタル標準テレビ放送）　120GBモデル31.5時間／240GBモデル63時間
※ これらの録画レートは、放送により自動決定されます。（本製品では、設定できません）

録画できる番組数

録画できる番組数は、最大127までとなります。

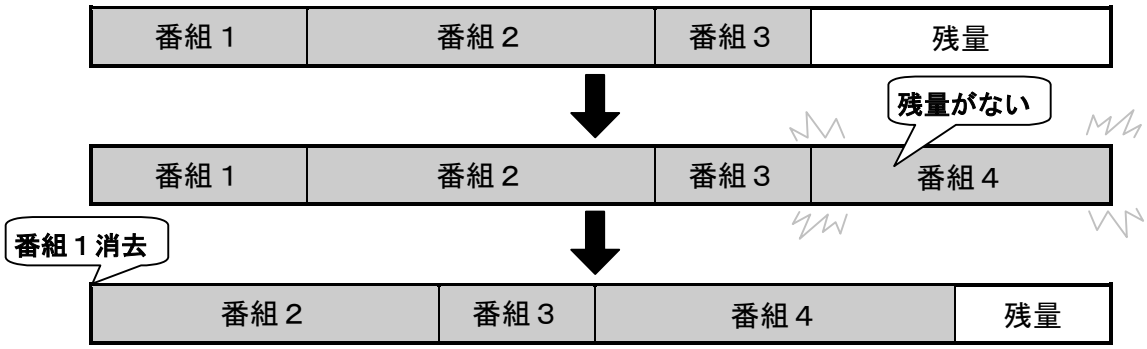
注意

2分未満の録画の場合

15秒以内では、録画できない場合があります。
2分未満では、Rec-POTメニューの番組一覧で「No Title」と表示され、録画情報が表示されない場合があります。

録画の仕組み

録画の際に残量が無くなったり、録画できる番組数を超えた場合、古い番組から順に消去していきます。
消去されたくない番組は、【番組を保護する［ロック］】(38ページ)をご覧になり、保護してください。



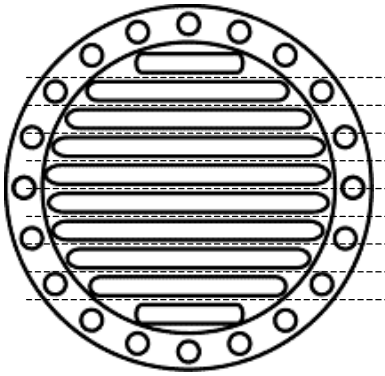
参考

録画中の番組を消しながら、録画を続けることはありません

そのため、上の【録画できる時間の目安】に記載されている時間を超えて、録画することはできません。
録画を続けられなくなった時点で、本製品は録画を終了します。

使用容量ゲージ

HDD の残り容量［ロックした番組(38ページ)の割合］に応じて点灯します。



※ 番組数が 127 になると、容量を表示するランプが赤く点灯します。

例：Panasonic TU-BHD250での予約録画

Panasonic TU-BHD250 での予約録画方法を紹介します。
これは例ですので、チューナーの取扱説明書をご覧になりながら作業を行ってください。

参考

ここで紹介している方法は手順例です
必ずチューナーの取扱説明書をご覧になりながら、作業を行ってください。

1 チューナーのリモコンにある[番組ナビ]ボタンを押します。

⇒「番組ナビ」が表示されます。

2 [番組予約]に合わせて、[決定]ボタンを押します。

⇒「番組予約」が表示されます。

3 録画したい番組を選び、[決定]ボタンを押します。

⇒「予約設定」が表示されます。

4 「録画機器」を本製品にあったものに変えます。

「i.LINK接続設定」で確認できます。

参考

他の設定について
チューナーの取扱説明書をご覧ください。

5 [番組予約]に合わせて、[決定]ボタンを押します。

⇒番組が予約されます。すでに番組が始まっている場合は、そのまま録画されます。



例:TOSHIBA TT-D2000での予約録画

TOSHIBA TT-D2000 での予約録画方法を紹介します。
これは例ですので、チューナーの取扱説明書をご覧になりながら作業を行ってください。

参考

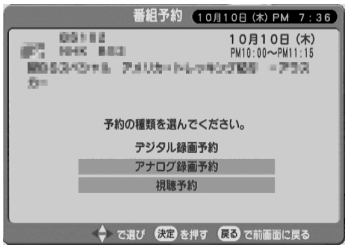
ここで紹介している方法は手順例です
必ずチューナーの取扱説明書をご覧になりながら、作業を行ってください。

1 チューナーのリモコンにある[番組表]ボタンを押します。
⇒「番組表」が表示されます。

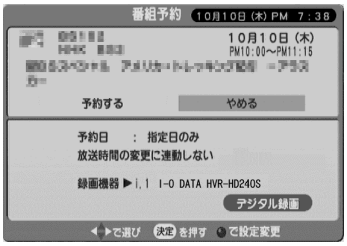


2 録画したい番組を選び、[決定]ボタンを押します。
⇒「番組予約」が表示されます。

3 「デジタル録画予約」を選び、[決定]ボタンを押します。



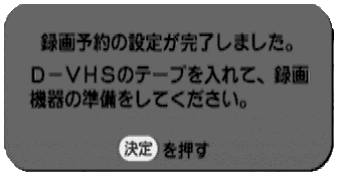
4 「予約する」を選び、[決定]ボタンを押します。



参考

記載されていない画面が表示されたら・・・
番組が重なっていたり、選んだ番組がペイパービューである可能性があります。
詳しくは、チューナーの取扱説明書をご覧ください。

5 [決定]ボタンを押します。
⇒「番組表」に戻ります。



6 全ての録画予約が終わったら、[終了]ボタンを押します。

Rec-POTメニュー

本製品には、便利にお使いいただくための「Rec-POT メニュー」が搭載されています。

参考

Rec-POTメニューはデータ放送番組として作られています

そのため、データ放送番組としてチューナーに受信されるまで数秒～十数秒かかります。
また、Rec-POTメニューの番組一覧に「メニューデータ」という番組が表示されます。
この「メニューデータ」は、Rec-POTメニューで操作することができません。

Rec-POTメニューを表示／切替／閉じる

専用リモコンの［メニュー表示］ボタンを押してください。
⇒Rec-POT メニューの「タイトルリスト」が表示されます。

ボタン	説明
表示 **［メニュー表示］ボタン**	Rec-POTメニューを表示します。
切換 **［メニュー切換］ボタン**	Rec-POTメニューを下記の順で切り換えます。 「タイトルリスト」→「プログラム再生」→「設定変更」
OFF **［メニューOFF］ボタン**	Rec-POTメニューを閉じます。

参考

［メニュー表示］ボタンを押しても表示されない

・下のようにメッセージが表示された場合は、メッセージに従い、［メニューOFF］ボタンを押したあとで、［メニュー表示］ボタンを押してください。

> メニューが表示できません
>
> 専用リモコンで、メニューOFFボタンを押してから、
> メニュー表示ボタンを押して下さい。

・リモコンで操作する本製品が違う可能性があります。ユニット番号ボタンを操作してみてください。
・チューナーによっては、i.LINK機器を使えるようにチューナーを設定してからでないと本製品が動作しないものがあります。
詳しくは、【本製品を操作するときは・・・】(21ページ)をご覧ください。

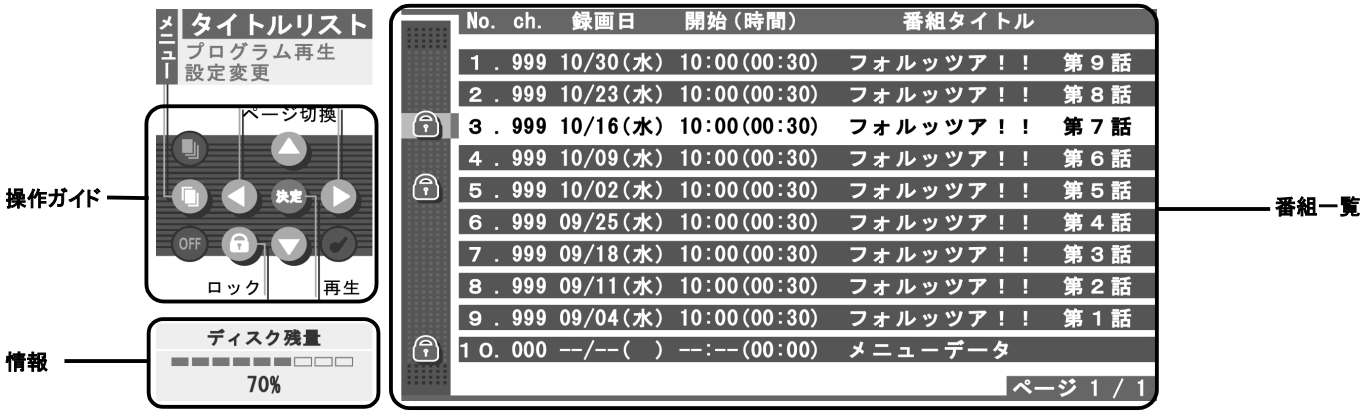
Rec-POTメニューの種類

Rec-POT メニューには「タイトルリスト」，「プログラム再生」，「設定変更」の３つがあります。
それぞれのメニューでできる操作が異なります。

メニュー	ページ	説明
タイトルリスト	32	録画した番組の再生や番組のロックを行います。
プログラム再生	33	録画した番組を好きな順番で再生する「プログラム再生」を行います。
設定変更	34	本製品の設定を行います。

タイトルリスト

録画した番組の再生やロックを行います。



■操作ガイド

リモコン操作を説明しています。

■情報

ロックされていない番組や空き容量がどれくらいあるかを表示しています。
番組をロックするたびに減っていきます。

■番組一覧



設定　［ロック］が付きます。　　**番組情報**　番組の情報が表示されます。

ページ　現在のページ／全体のページ数

参考

番組情報の並び順について

録画した日時の新しい順に並びます。また、一番後ろに「メニューデータ」が表示されます。

「No Title」となっている番組について

録画時間が2分未満のため、番組情報を読み出せなかった番組です。録画は2分以上行うようにしてください。

できる操作	ページ	説明
番組を再生する	35	番組を再生します。
番組をロック／解除する	38	番組のロック／解除を行います。

プログラム再生

録画した番組を好きな順番で再生する「プログラム再生」を行います。



■操作ガイド

リモコン操作を説明しています。

■情報

繰り返し再生の状態（ON/OFF）と、マークした番組の合計再生時間を表示します。

■番組一覧



設定　［マーク］が付きます。

番組情報　番組の情報が表示されます。

ページ　現在のページ／全体のページ数

参考

番組情報の並び順について

録画した日時の新しい順に並びます。また、一番後ろに「メニューデータ」が表示されます。

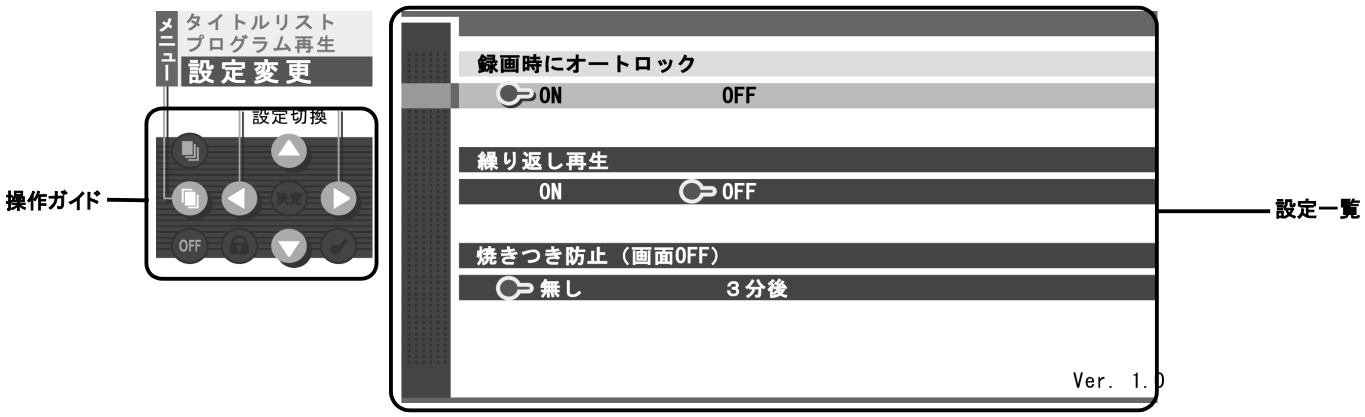
「No Title」となっている番組について

録画時間が2分未満のため、番組情報を読み出せなかった番組です。録画は2分以上行うようにしてください。

できる操作	ページ	説明
番組をプログラム再生する	36	番組を好きな順番で再生します。

設定変更

本製品の設定を行えます。ここでは、３つの設定が可能です。



■操作ガイド

リモコン操作を説明しています。

■設定一覧

録画時にオートロック

ON　　OFF

これを「ON」にすると、ON にしてから録画される全ての番組をロックするものです。
ドラマなどの消えては困る番組を連続で録画する場合にお使いください。

参考

ロックについて

【番組を保護する［ロック］】(38ページ)をご覧ください。

OFFにしても、すでにロックされた番組がロック解除されるわけではありません

オートロック機能のOFFと、すでにロックされた番組は関係ありません。
番組のロックを解除したい場合は、【番組をロック／解除する】(38ページ)または【全ての番組のロックを解除する】(39ページ)の作業を行う必要があります。

繰り返し再生

ON　　OFF

これを「ON」にすると、「プログラム再生」でマークした番組を繰り返し再生するようになります。

焼きつき防止（画面OFF）

無し　　３分後

これを「３分後」にすると、３分間 Rec-POT メニューが動かなかった場合に、自動的に Rec-POT メニューを閉じます。

再生する

本製品からの再生は、Rec-POT メニューの操作で行います。

参考

チューナー側の操作による再生

本製品をチューナー側で操作することにより、再生することも可能です。
その場合は、チューナーの取扱説明書をご覧になり、操作を行ってください。
※ チューナーによっては、i.LINK機器を使えるようにチューナーを設定してからでないと本製品が動作しないものがあります。
詳しくは、【本製品を操作するときは・・・】(21ページ)をご覧ください。

番組を再生する

1 Rec-POTメニューを「タイトルリスト」にします。

リモコンの［メニュー切換］ボタンを数回押し、「タイトルリスト」にします。



2 再生したい番組を選びます。

番組を選ぶ	ページを切り替える
▲ ▼	◀ ▶

3 [決定]ボタンを押します。

⇒選んだ番組が再生されます。

参考

連続再生について

選んだ番組が再生を終えた場合、それよりも新しい番組がある場合は、順に再生します。
最新の番組を再生し終えたら再生を終了します。

番組をプログラム再生する

録画した番組を好きな順番で再生する「プログラム再生」を行います。

1 Rec-POTメニューを「プログラム再生」にします。

リモコンの［メニュー切り替え］ボタンを数回押し、「プログラム再生」にします。





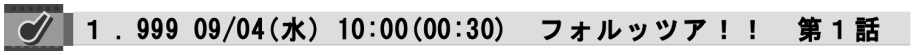
2 再生したい番組にマークを付けていきます。

番組を選び、リモコンの［マーク］ボタンを押します。

⇒選んだ番組にマークが付きます。（最大16番組までマークを付けられます）

このマークを付けた順番に再生されることになります。





参考

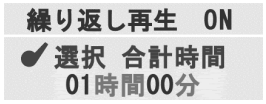
マークの解除

マークの付いた番組を選んで、リモコンの［マーク］ボタンを押します。

ダビングなどに便利です

左下の情報部分にマークを付けた番組の合計時間が表示されます。

別のi.LINK機器にダビングするときなどに使うと便利です。



3 ［決定］ボタンを押します。

⇒マークを付けた順に、番組が再生されます。

参考

繰り返し再生

【設定変更】(34ページ)の「繰り返し再生」を［ON］にすると、繰り返し再生になります。

マークを付けた番組の再生を最後まで再生し終わると、またマークを付けた番組の最初から再生されます。

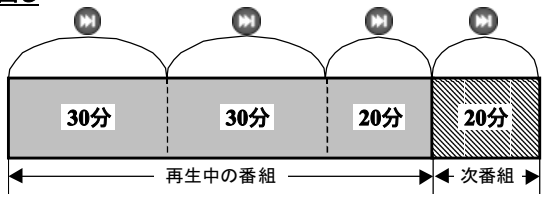
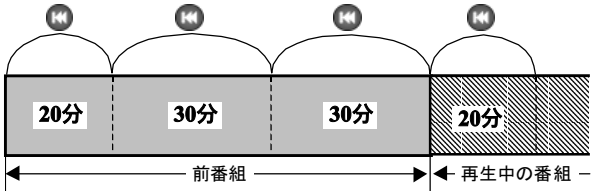
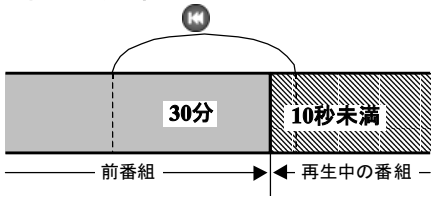
繰り返し再生になっているかどうかは、プログラム再生 左下の情報部分に表示されます。

番組を停止すると、マークは消えてしまいます

再生を停止した時点で、番組のマークは消えてしまいます。

番組再生時の操作

番組再生中はリモコンのボタンを使って、操作を行うことができます。

ボタン	説明
停止 [停止]ボタン	番組の再生を停止します。
再生 [再生]ボタン	停止したところから番組を再生します。 また、番組の一時停止／早戻し／早送りを解除します。
頭出し [頭出し]ボタン	前／後の番組に移動します。 ただし、それぞれの方向に30分以上その番組がある場合は30分スキップします。 ※ 前頭出しは、番組開始より10秒経過していない場合、前の番組を含めて移動します。 **次頭出し**  **前頭出し** ・番組開始より10秒以上経過  ・番組開始より10秒以内 
一時停止 [一時停止]ボタン	番組の再生を一時停止します。
早戻し [早戻し]ボタン	**一度押す** 番組の再生を早戻しします。 早戻し速度は【設定モード】(44ページ)で設定します。 **押しっぱなし** 番組の再生を押している間3倍速で早戻しします。
早送り [早送り]ボタン	**一度押す** 番組の再生を早送りします。 早送り速度は【設定モード】(44ページ)で設定します。 **押しっぱなし** 番組の再生を押している間3倍速で早送りします。

参考

[再生]ボタンを押すと、Rec-POTメニューが表示された

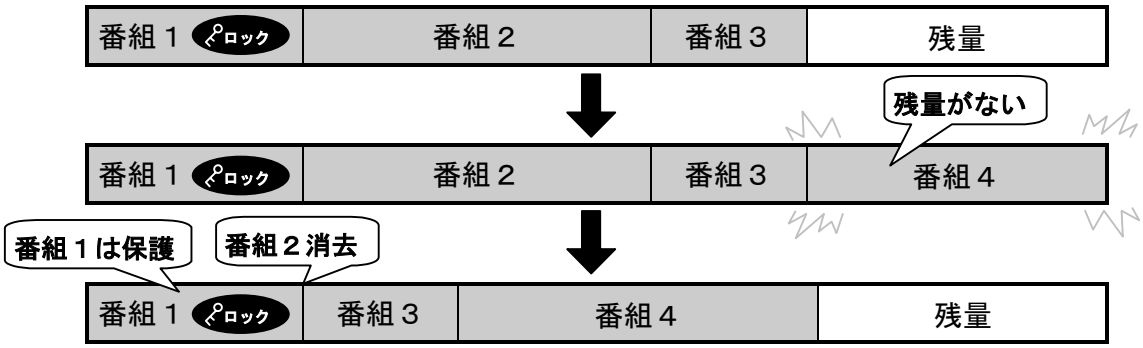
Rec-POTメニューも番組として扱われています。
つまり、Rec-POTメニューを閉じることは、Rec-POTメニューという番組を停止することになります。
そのため、その後で［再生］ボタンを押すとRec-POTメニューという番組が再生されます。

番組を保護する[ロック]

番組を消されないようにすることを、「番組をロックする」と言います。

ロックの仕組み

番組をロックすると、その番組は消えなくなります。
消える順番が来た場合も、ロックされた番組はとばされます。



番組をロック／解除する

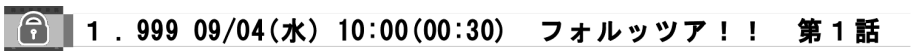
1 Rec-POTメニューを「タイトルリスト」にします。

2 ロック／解除したい番組を選びます。

3 番組をロック／解除します。

番組を選び、リモコンの［ロック］ボタンを押します。
⇒選んだ番組がロック／解除されます。

ロック



参考

番組をロックすると、ディスク残量が減ってしまいます

多くの番組をロックすると、Rec-POTメニュー「タイトルリスト」左下に表示されるディスク残量が少なくなります。ロックのしすぎにより、録画できなくならないようにご注意ください。

再生中の番組をロック／解除する

① ロック／解除する番組を再生し、「再生ランプ」の点灯を確認します。
② 本製品の「ロックボタン」を押します。
⇒ピッと音がして、現在再生中の番組がロック／解除されます。

今後録画する全ての番組をロックする(オートロック機能)

■Rec-POT メニューで設定する

Rec-POT メニューの「設定変更」で設定します。【設定変更】(34ページ)をご覧ください。

■本製品のボタンで設定する

1 本製品が録画／再生していないことを確認します。

本製品前面の録画ランプ、再生ランプを確認します。

2 本製品の[ロック]ボタンを押します。

⇒ピッと音がして、オートロック機能がON/OFFされます。



参考

番組をロックすると、ディスク残量が減ってしまいます

多くの番組をロックすると、Rec-POTメニュー「タイトルリスト」左下に表示されるディスク残量が少なくなります。ロックのしすぎにより、録画できなくならないようにご注意ください。

OFFにしても、すでにロックされた番組がロック解除されるわけではありません

オートロック機能のOFFと、すでにロックされた番組は関係ありません。
番組のロックを解除したい場合は、【番組をロック／解除する】(38ページ)または【全ての番組のロックを解除する】(39ページ)の作業を行う必要があります。

全ての番組のロックを解除する

1 本製品が録画／再生していないことを確認します。

本製品前面の録画ランプ、再生ランプを確認します。

2 本製品の「ロックボタン」をしばらく(3秒以上)押します。

⇒ピッと音がした後、ピーッと音がします。
全ての番組のロックが解除されました。



D-VHSビデオデッキにダビングする

本製品と D-VHS ビデオデッキとのダビング操作は、D-VHS ビデオデッキの操作で行います。
D-VHS ビデオデッキの取扱説明書をご覧になり、ダビング操作を行ってください。

参考

簡単なダビング操作例

① D-VHSビデオデッキに本製品が認識されているのを確認します。
② D-VHSビデオデッキを録画一時停止状態にします。
③ 【再生する】(35ページ)をご覧になり、本製品を再生状態にします。
※ 【番組をプログラム再生する】(36ページ)を使うと、再生時間の合計を見ることができ、便利です。
④ D-VHSビデオデッキの録画一時停止を解除します。

D-VHSビデオデッキにMPEGデコーダーがない場合

そのD-VHSビデオデッキからはダビング中の番組を見ることはできません。

D-VHSビデオデッキから本製品へのダビングはできません

本製品側からD-VHSビデオデッキを操作することはできないため、D-VHSビデオに保存されている番組を本製品にダビングすることはできません。

Rec-POTメニューは録画できません

D-VHSビデオデッキによっては、Rec-POTメニューを録画しようとすると、録画を停止してしまいますので、ご注意ください。

例:本製品からPanasonic NV-DHE10へのダビング操作

Panasonic NV-DHE10 への登録方法を紹介します。
これは例ですので、i.LINK 機器の取扱説明書をご覧になりながら作業を行ってください。

参考

ここで紹介している方法は手順例です

必ずi.LINK機器の取扱説明書をご覧になりながら、作業を行ってください。

1 D-VHSデッキ(NV-DHE10)のリモコンにある[メニュー]ボタンを押します。

⇒「メニュー」が表示されます。

2 [i.LINK機器一覧]に合わせて、[決定]ボタンを押します。

⇒「i.LINK機器一覧」が表示されます。

3 「HVR-HD*S」が「○」になっていることを確認します。**

4 [i.LINK]ボタンを押し、D-VHSデッキから本製品を選びます。

5 テープ速度が「HS STD」になっていることを確認します。

6 録画するD-VHSテープを再生にします。

7 録画したい位置で一時停止にします。

8 **［録画］ボタンを軽く押し、録画の一時停止にします。**

9 **本製品を操作し、番組を再生します。**

【再生する】(35ページ)をご覧ください。

10 **D-VHSの録画一時停止を解除します。**

⇒本製品で再生している番組が録画されます。

Memo

付録

設定モード.....44
設定モードにする.....44
設定する.....44
設定モードを終了する.....45

全ての番組を消す.....46

困った時には.....47

仕様.....49

設定モード

設定モードにすることで、本製品に関する設定をいくつかする事ができます。

設定モードにする

1 本製品の電源状態を「待機」か「OFF」にします。

本製品かリモコンの［電源］ボタンを押し、本製品の電源状態を「待機」か「OFF」にします。

※ 電源状態については、【電源状態】(17ページ)をご覧ください。

電源



2 本製品の[ロック]ボタンを押します。

⇒ピッと音が鳴り、本製品が設定モードに入ります。

ロック



設定する

参考

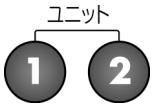
設定モードにした後の作業です

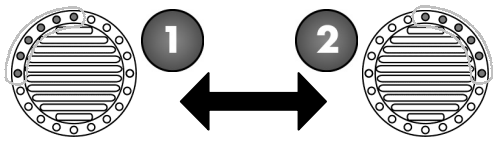
ここにある設定を行うときは、まず本製品を設定モードにしてください。

■本製品のユニット番号を設定する

設定したいユニット番号に対応したユニット番号ボタンを押します。

⇒設定モードに入っている本製品がそのボタンと対応します。





参考

ユニット番号による本製品の使い分け

リモコンのユニット番号ボタンを使うことによって１つの専用リモコンで２台の本製品を操作することができます。

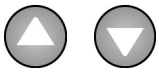
上にある設定で対応するユニット番号を決定したら、ユニット番号ボタンを押すことでその番号に対応した本製品を操作することができます。

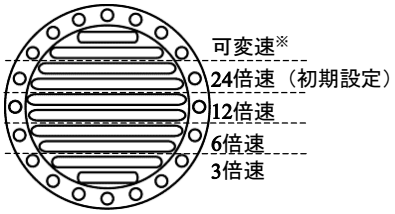
ユニット番号ボタンを押すと、そのユニット番号に対応した本製品の前面にあるRec-POTロゴが光ります。

■早送り／早戻しのスピードを変える

リモコンの上下ボタンを押します。

⇒それに合わせて早送り／早戻しのスピードの設定が変わります。また、前面のランプが変化します。





※ ［早送り］［早戻し］ボタンを押すたびに、スピードが変わります。
ただし、可変速にした場合、チューナーによっては正しく動作しないことがあります。
そのようなときは、チューナーから一度取り外し、設定を変更してください。

■前面にあるランプの明るさを変える

本製品の［ロック］ボタンを押します。

⇒それに合わせて、ランプの明るさが6段階で変わります。



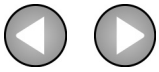
段階	明るさ	ボタン				Rec-POT ロゴ	容量 ゲージ	リング
		Play	Rec	i.LINK	Lock			
1	明るい	○	○	○	○	○	○	○
2	普通	○	○	○	○	○	○	○
3	暗い	○	○	○	○	○	○	○
4	暗い	○	○	○	○	○	○	×
5	暗い	○	○	○	○	×	×	×
6	暗い	×	×	×	×	×	×	×

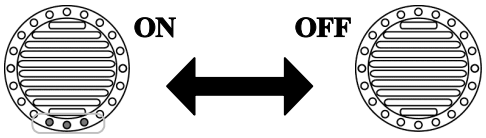
○ 点灯　　× 消灯

■操作音を ON／OFF する

リモコンの左右ボタンを押します。

⇒それに合わせて操作音が ON／OFF されます。





設定モードを終了する

● **設定が終わったら、本製品の[電源]ボタンを押します。**

⇒設定モードが解除されます。

設定は完了です。

電源



全ての番組を消す

録画できる容量や番組数が少ないときなどに、お使いください。

注意

消した番組は元に戻りません

必要な番組や、必要になる可能性のある番組がないかご確認ください。

ロックした番組(38ページ参照)も消えます

本作業では、ロックの有無には関係なく全ての番組を消します。
ロックした大事な番組を消さないようにご注意ください。

モード 1 では、本作業を行えません

本作業をしたい場合は、一時的にモードを 3 に設定し、作業終了後にモード 1 に戻してください。

参考

全ての番組を消すための時間

HVR-HD120S ····· 約15秒　　HVR-HD240S ····· 約30秒

各番組を消す方法

モード 1 でお使いの場合は、チューナー側の操作で番組を消すことができます。

モード 3 でお使いの場合は、各番組を消す方法はありません。
【録画の仕組み】(28ページ)のように、古い番組から自動的に消されていきますので、そのままお使いください。

1 本製品の電源状態を「OFF」にします。

本製品かリモコンの［電源］ボタンを押し、本製品の電源状態を「OFF」にします。
※ 電源状態については、【電源状態】(17ページ)をご覧ください。



2 本製品の[電源]ボタンを押しながら、本製品の[ロック]ボタンを押し続けます(約3秒間)。

電源が入るとともにピッと鳴ります。しばらくしてからもう一度ピピッと鳴りますので、それまで押し続けてください。
⇒HDD容量ゲージが上下に動くように点灯します。



3 本製品が初期化モードに入ったことを確認します。

HDD容量ゲージが赤く点灯したら全初期化モードに入っています。

4 本製品の[ロック]ボタンを押します。

⇒インジケータ・リングが回り始め、全ての番組の消去が開始されます。
作業が終了すると、ピーッと音が鳴り、インジケータ・リングが停止します。
本製品の電源状態は「ON」になります。そのまま本製品をお使いください。

困った時には

本製品をお使いになり、問題が発生した場合にご覧ください。

症状	原因／確認	処置
電源が入らない	電源コードは電源コンセントに接続されていますか？	電源コードを電源コンセントに接続してください。
操作できない	インジケータ・リングが点灯していませんか？	電源コードを電源コンセントに接続してから、インジケータ・リングが消灯するまで（約 20 秒）待ってください。
リモコン操作ができない	リモコンの電池は消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。 【電池】(18ページ)
	電池の極性（＋，－）は正しいですか？	電池を正しく入れてください。 【電池】(18ページ)
	本製品に向けて操作していますか？	本製品のリモコン受光部（本製品前面中央）に向けて操作してください。
	ユニット番号ボタンを正しく操作していますか？	本製品は出荷時にユニット番号１に設定されています。ユニット番号1ボタンを押してから、操作してみてください。
	本製品のモードは「３」ですか？	モード１ではリモコンを使えません。
リモコン操作で２台動作してしまう	ユニット番号を設定しましたか？	本製品を２台使う場合は、片方のユニット番号を設定モード(44ページ)で変更してください。
録画ができない	コピーガードされた番組を録画しようとしていませんか？	コピーガードされた番組は録画できません。 チューナーのメールをご覧ください。
	i.LINK ケーブルは正しく接続されていますか？	添付の i.LINK ケーブルで本製品とチューナーを接続してください。
	チューナーに本製品を登録していますか？	【チューナーに登録する】(19ページ)をご覧になり、本製品をチューナーに登録してください。
	チューナーが本製品を録画機器として認識していますか？	チューナーによっては、録画機器として設定しないと録画できないものがあります。 チューナーの取扱説明書をご覧になり、録画機器として登録してください。
	本製品の電源状態(17ページ)は、「OFF」ではないですか？	本製品の電源状態が「OFF」の場合、録画・再生などの操作は行えません。 電源状態を「ON」か「待機」にしてください。
Rec-POT メニューが表示されない	ユニット番号ボタンを正しく操作していますか？	本製品は出荷時にユニット番号１に設定されています。ユニット番号1ボタンを押してから、操作してみてください。
	i.LINK ケーブルは正しく接続されていますか？	添付の i.LINK ケーブルで本製品とチューナーを接続してください。
	チューナーに本製品を登録していますか？	【チューナーに登録する】(19ページ)をご覧になり、本製品をチューナーに登録してください。
	番組を録画していませんか？	番組の録画中にリモコンでの操作はできません。 録画が終わるまで待つか、録画を終了してください。
	チューナーの電源は入っていますか?	Rec-POT メニューはチューナーの機能を使って番組として表示されます。本製品を使うときは、チューナーの電源を入れてください。

症状	原因／確認	処置
D-VHS ビデオデッキにダビングできない	i.LINK ケーブルは正しく接続されていますか？	添付の i.LINK ケーブルで本製品とチューナーを接続してください。
	本製品と D-VHS ビデオデッキは LINC していますか？	本製品を D-VHS ビデオデッキと LINC していないと、ダビングは行えません。 D-VHS ビデオデッキの取扱説明書をご覧になり、LINC を行ってください。
	ダビングしようとした番組はコピー可能な番組ですか？	１回のみデジタルコピーを許可している番組はダビングできません。
本気に手を触れると熱い	本製品はハードディスクの放熱のため、上面、側面および背面は温度が高くなります。	品質、性能には問題ありません。 本製品を風通しの良い場所に設置してください。 また、本製品の上に物を置いたり、他の機器の上に本製品を置いたりしないでください。

仕様

製品名	BSデジタルハイビジョン放送対応レコーディングハードディスク Rec-POT	
型式	HVR-HD120S	HVR-HD240S
HDD容量	120Gバイト	240Gバイト
インターフェイス	i.LINK(2系統)　4ピン S400 DTCP対応	
対応ストリーム	MPEG2-TS	
ストリーム処理能力	HDストリーム対応(28.3Mbps)	
電源	AC100V　50/60Hz	
電源コンセント	AC100V／200W (非連動)	
消費電力	動作時　13W 待機時　6W	
外形寸法	180(W) × 180(D) × 60(H) mm	
質量	約1.6kg	
環境条件	温度 動作範囲　5～35℃ 保存範囲　-20～60℃ 湿度 動作範囲　20%～80%（結露のないこと） 保存範囲　5%～90%（結露のないこと）	

索引

A－Z
- i.LINK
  - ～機器の認識 …… 19
  - ～端子 …… 11
- Rec-POT メニュー
  - ～の内容 …… 31
  - ～を表示する …… 31

あ行
- オートロック …… 39
- 音
  - 操作～を ON／OFF する …… 45

か行
- 繰り返し再生
  - ～を ON／OFF する …… 34

さ行
- 再生
  - 1 つの番組を～する …… 35
  - 番組～時の操作 …… 37
  - 複数の番組を連続～する …… 36
- 仕様 …… 49
- 接続する …… 16
- 設置する …… 15
- 設定
  - ～変更 …… 34
  - ～モード …… 44
- 専用リモコン
  - ～の各部の名称 …… 12
  - ～の電池について …… 18
  - ～を準備する …… 18
- 操作音
  - ～を ON／OFF する …… 45

た行
- 待機状態 …… 17
- タイトルリスト …… 32
- ダビング
  - 番組を～する（モード 1 ）…… 25
  - 番組を～する（モード 3 ）…… 40
- 電源
  - ～を入れる …… 17
  - ～状態 …… 17

は行
- ハードディスクレコーダー
  - ～として認識 …… 19
- 番組
  - ～を録画する（モード 1 ）…… 24
  - ～を録画する（モード 3 ）…… 28
  - ～を再生する（モード 1 ）…… 25
  - ～を再生する（モード 3 ）…… 35
  - ～を保護（ロック）する …… 38
  - 全ての～を消す …… 46
- プログラム再生 …… 33

ま行
- メニュー → Rec-POT メニュー
- モード
  - ～の設定 …… 14
  - ～ 1 で使う …… 23
  - ～ 3 で使う …… 27
- 燃えつき防止 …… 34

や行
- ユーザー登録 …… 9

ら行
- リモコン → 専用リモコン
- 録画
  - 番組を～する（モード 1 ）…… 24
  - 番組を～する（モード 3 ）…… 28
  - ～の仕組み（モード 1 ）…… 24
  - ～の仕組み（モード 3 ）…… 28
- ロック
  - オート～ …… 39
  - ～ボタン …… 10,12
  - ～の仕組み …… 38
  - 番組を～する …… 38
  - 番組の～を解除する …… 38
  - 全ての番組の～を解除する …… 39

ご意見・ご質問はこちら

電話

■ 電話番号　金沢（本社）　076-260-3646
　　東京　　03-3254-1036

■ 受付時間　9:30 ～ 19:00（土・日曜／祝祭日は除く）

FAX

■ FAX番号　金沢（本社）　076-260-3360
　　東京　　03-3254-9055

インターネット

■ ホームページ　http://www.iodata.jp/support/

※ 本製品に関するお問い合わせは、こちらでのみ行っております。
　あらかじめご了承ください。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
明らかに故障の場合は、下記内容をご参照の上、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

■ 内部のデータについて

・検査の際に、内部のデータは全て消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
・弊社では、データの修復は行っておりません。

■ お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

■ 修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

■ メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルナンバー（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

■ これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］，日中にご連絡できるお電話番号，ご使用環境（機器構成、OSなど），
故障状況（どうなったか）

■ 修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

■ 修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
4) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
5) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
6) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。**(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)**
7) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
8) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。。
9) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- **I-O DATA**は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- **"AVHDD"**は、松下電器産業株式会社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

HVR-HDSシリーズ 取扱説明書

2002.10.18　121663-01

発　行　　株式会社アイ･ オー･ データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町**3**丁目**10**番地

Ⓒ 2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.

本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。